

環境調査結果

平成20年8月25日

中央漁業指導所 水産試験場

平成20年8月25日9時30分から野見湾の環境調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

溶存酸素

溶存酸素量は3.7~6.0mg/lの範囲でした。(表1・表2、図1参照)

野見崎・小長崎中間点の10m及び馬の背漁場で溶存酸素が5mg/l以下と低くなっています。

白浜漁場の5m以深においても溶存酸素が低くなっています。

(白浜漁場の溶存酸素 0m : 5.1mg/l、2m : 5.2mg/l、5m : 4.6mg/l、10m : 4.3mg/l、B-1m : 4.74mg/l)

(グラフ中の破線は、環境改善目標値(5.7mg/l)を表します。)

水温

水温は24.4~28.1℃の範囲でした。(表3、図2参照)

塩分

塩分は32.9~33.5の範囲にあり、通常の塩分濃度です。

(表4、図3参照)

赤潮プランクトン

ST1~ST4及び須崎市場前の0, 2, 5m層で採水を行い水試で調査しました。

防波堤内の2m及び5mにシャトネラ・マリナが1cell/ml確認されました。

須崎市場前の0mにヘテロシグマ・アカシオが30cell/ml確認されました。

密度は現在のところ非常に低いですが、魚の状態や海面の着色状況に十分注意し給餌を行ってください。

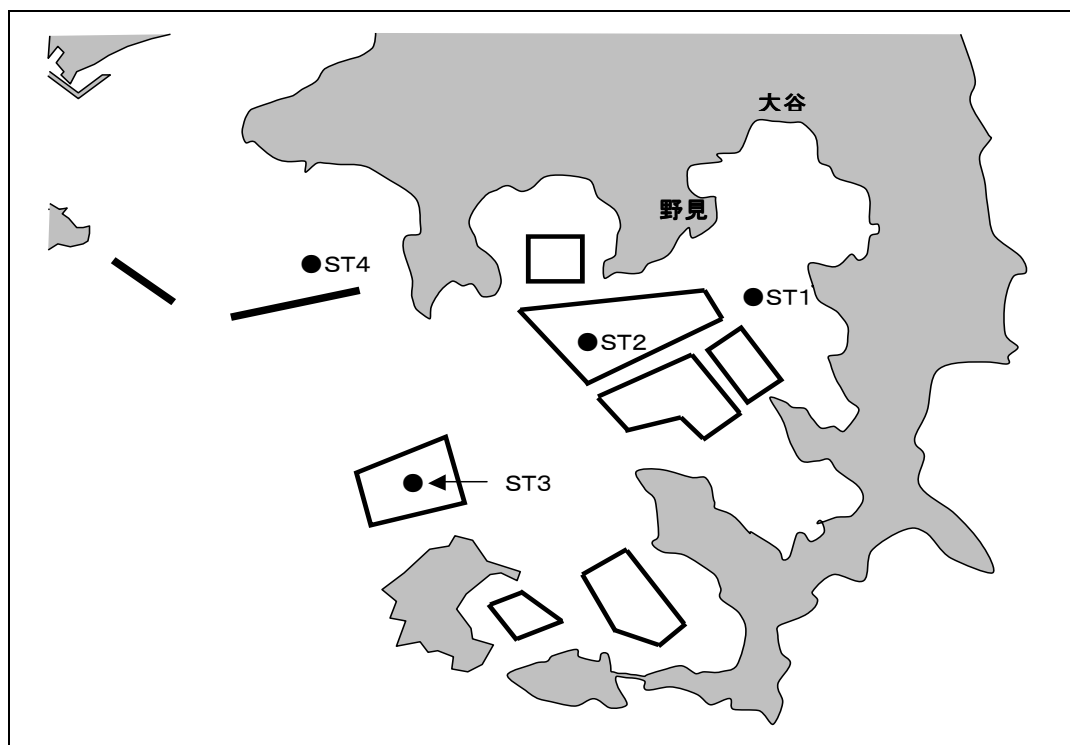


図1 野見湾調査定点図

環境調査結果表

表 1 溶存酸素 (mg/l) 観測時間10:10~10:40 平成20年4月16日調査

調査地点	ST1	ST2	ST3	ST4	湾内 平均 (st1~st4)	昨年同時期 平均 (H19.1.23)	昨年との差 今年-昨年
	野見崎 小長崎 中間点	馬の背	ガラク2 番口	東側津浪 防波堤内 側			
0m	5.2	4.6	5.3	6.0	5.0	6.3	-1.3
2m	5.2	4.7	5.2	5.8	5.0	6.0	-1.0
5m	5.0	4.6	5.1	5.4	4.9	5.5	-0.6
10m	4.2	4.8	5.3	5.2	4.7	5.1	-0.3
B-1	3.7	4.7	5.2	5.3	4.5	4.7	-0.2

表 2 溶存酸素 (ml/l)

調査地点	ST1	ST2	ST3	ST4	湾内 平均 (st1~st4)	昨年同期 平均 (H19.1.23)	昨年との差 今年-昨年
	野見崎 小長崎 中間点	馬の背	ガラク2 番口	東側津浪 防波堤内 側			
0m	3.7	3.3	3.7	4.3	3.6	4.5	-0.9
2m	3.7	3.3	3.7	4.1	3.6	4.2	-0.7
5m	3.5	3.3	3.6	3.8	3.5	3.9	-0.4
10m	2.9	3.4	3.8	3.7	3.4	3.6	-0.2
B-1	2.6	3.3	3.7	3.7	3.2	3.3	-0.1

表 3 水温 (°C)

調査地点	ST1	ST2	ST3	ST4	湾内 平均 (st1~st4)	昨年同期 平均 (H19.1.23)	昨年との差 今年-昨年
	野見崎 小長崎 中間点	馬の背	ガラク2 番口	東側津浪 防波堤内 側			
0m	28.1	28.0	27.8	28.0	28.0	29.1	-1.1
2m	28.1	27.8	27.7	27.7	27.9	28.4	-0.5
5m	28.0	27.8	27.4	27.7	27.7	27.7	0.0
10m	27.7	27.5	27.2	27.6	27.5	27.3	0.2
B-1	27.4	24.4	26.9	26.7	26.2	26.8	-0.5

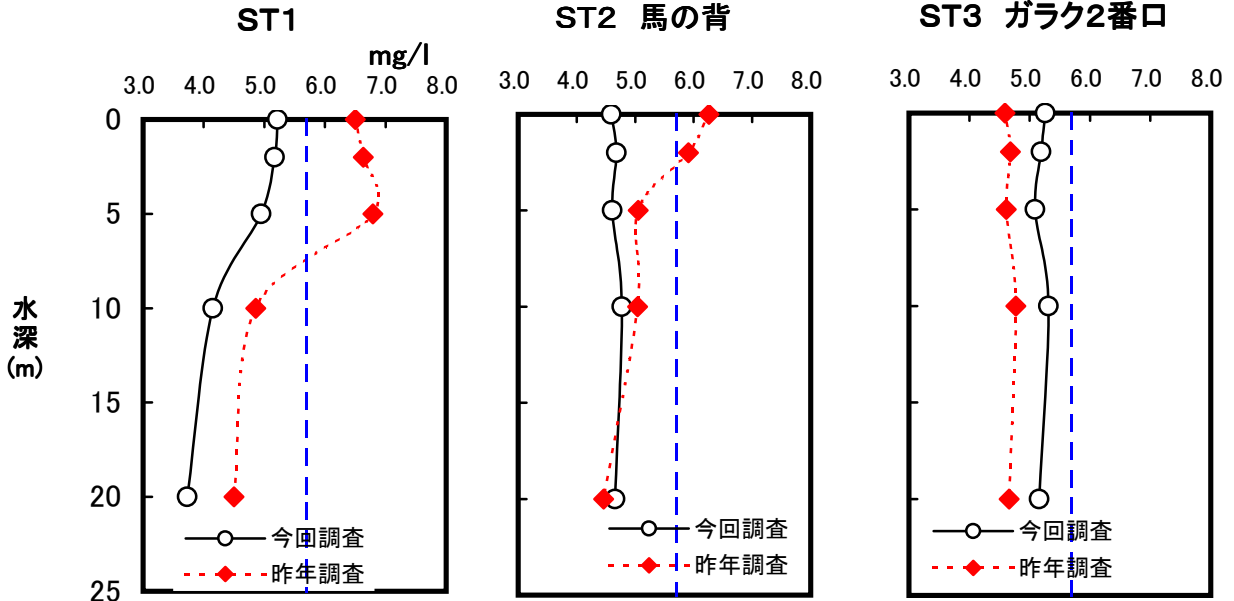
表 4 塩分

調査地点	ST1	ST2	ST3	ST4	湾内 平均 (st1~st3)
	野見崎 小長崎 中間点	馬の背	ガラク2 番口	東側津浪 防波堤内 側	
0m	32.9	33.3	33.3	33.0	33.2
2m	33.0	33.3	33.4	33.2	33.2
5m	33.1	33.3	33.4	33.4	33.3
10m	33.2	33.3	33.4	33.5	33.3
B-1	33.2	33.7	33.5	33.5	33.5

表 5 透明度及び水深

調査地点	ST1	ST2	ST3	ST4
水深 (m)	16.7	24.0	16.4	16.5
透明度 (m)	6.0	10.5	9.3	8.5

図1 溶存酸素



グラフ中での水深20mの値は底から1m上の層の値

グラフ中の波線は環境改善目標値5.7mg/l

図2 水温

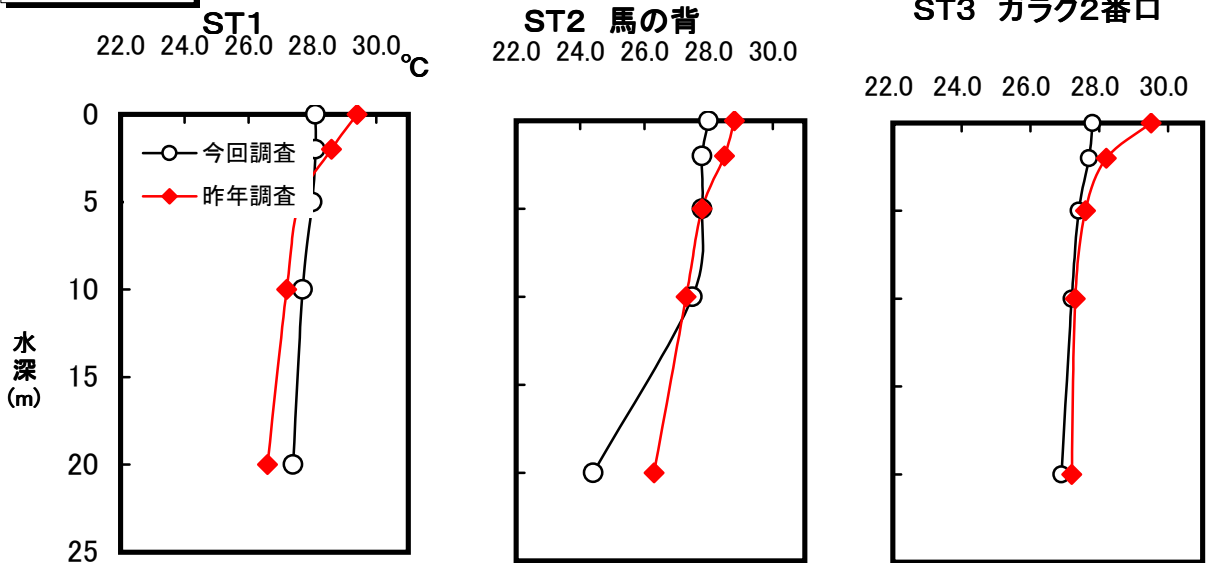


図3 塩分

